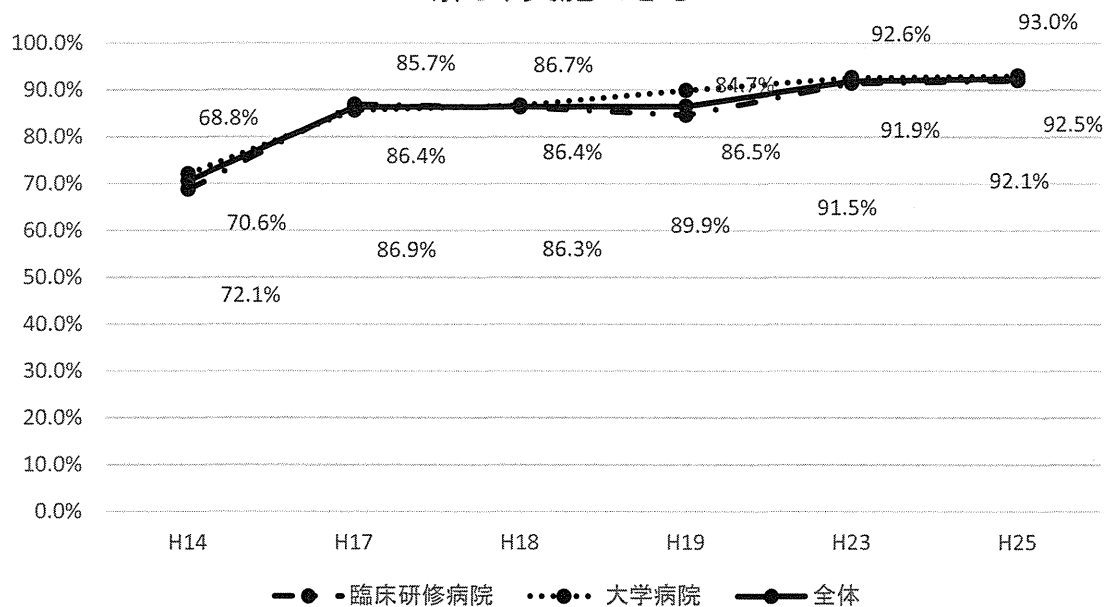
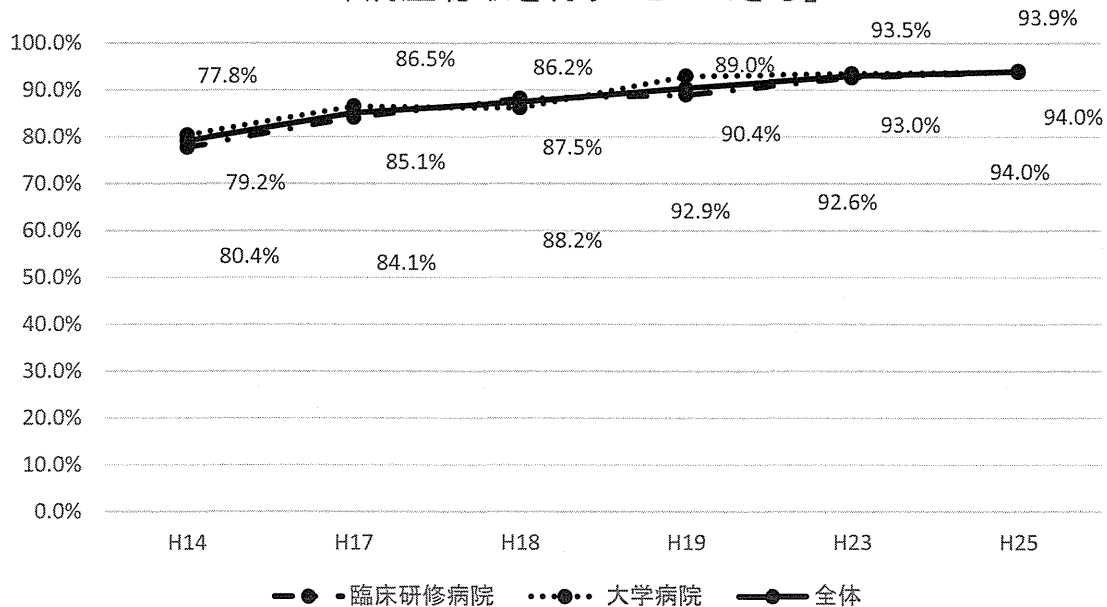


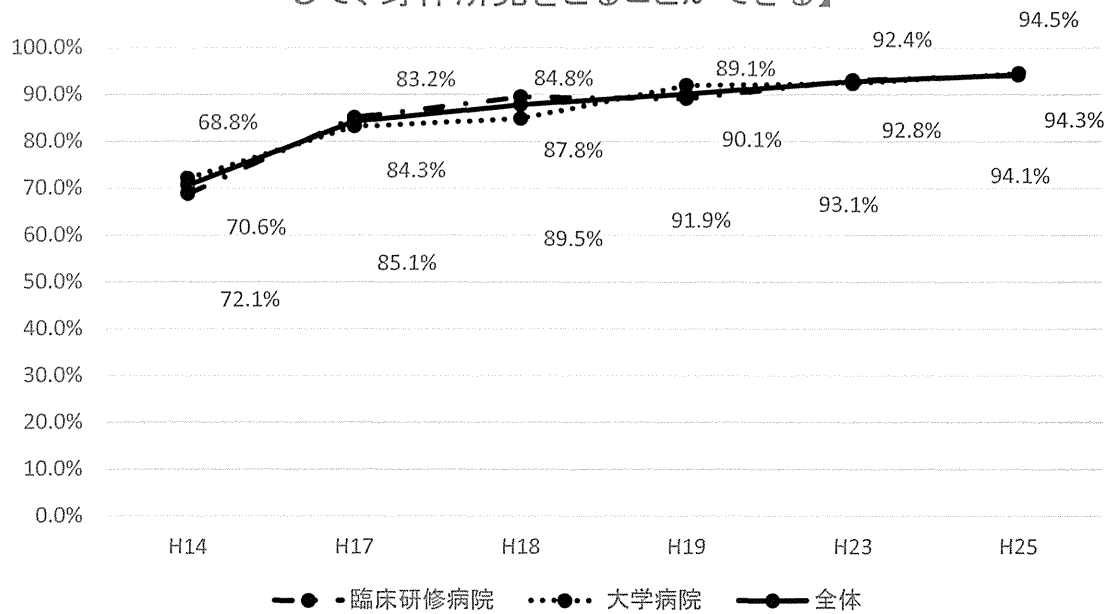
【院内感染対策(Standard Precautionsを含む)の基本を理解し、実施できる】



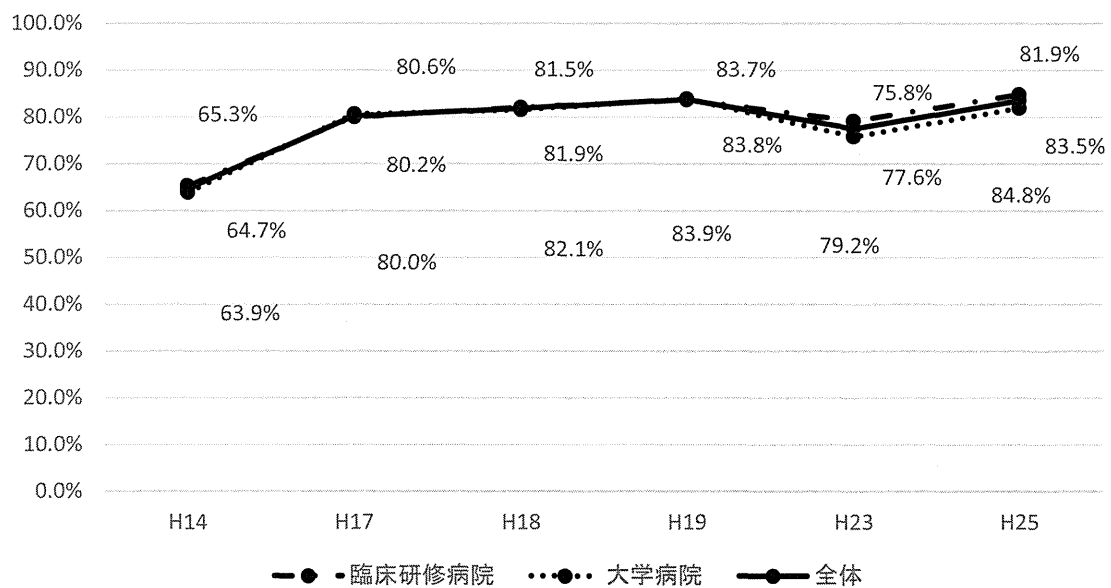
【高齢者の聴力・視力・認知面での障害の有無に配慮した、病歴聴取を行うことができる】



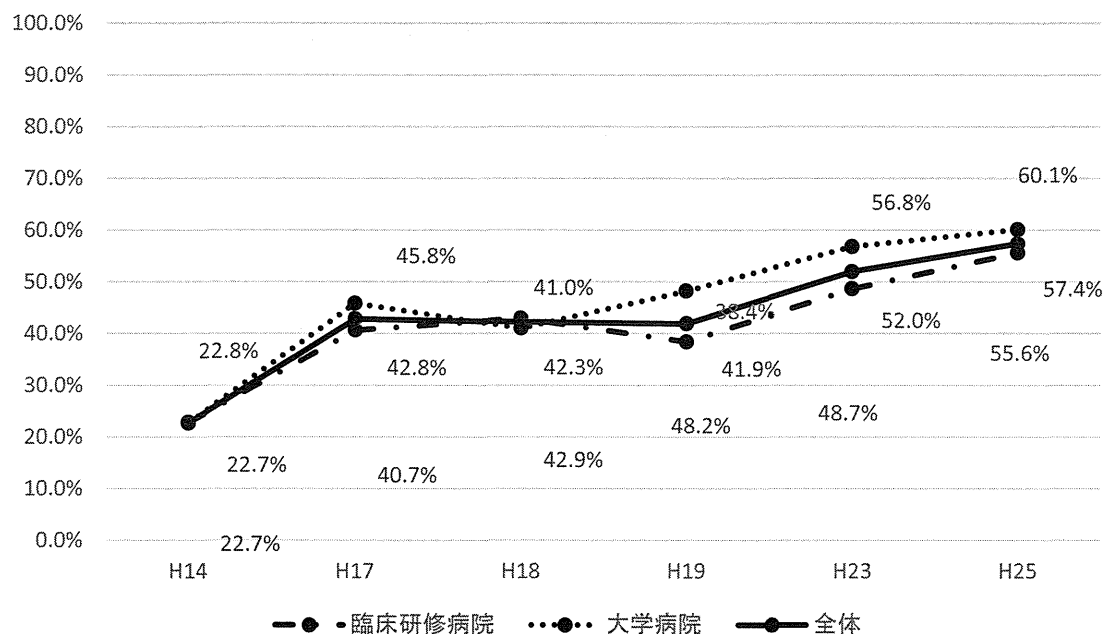
【高齢者の症状が非特異的、非典型的であることを理解して、身体所見をとることができる】



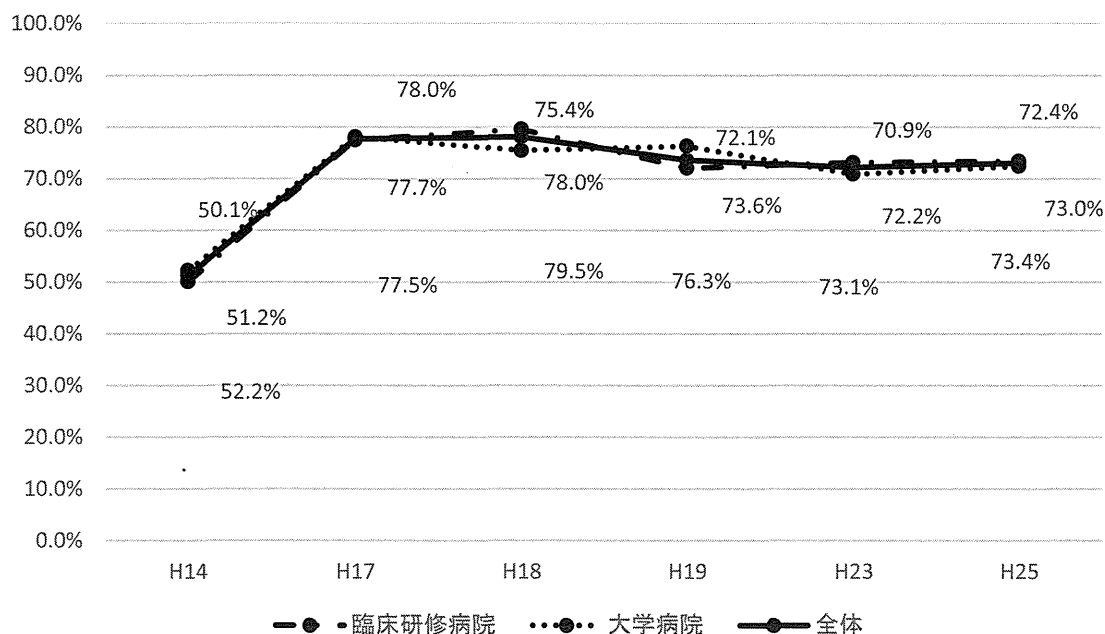
【高齢者の身体的、精神的、社会的活動性をできるだけ良好に維持するような治療法を提示することができる】



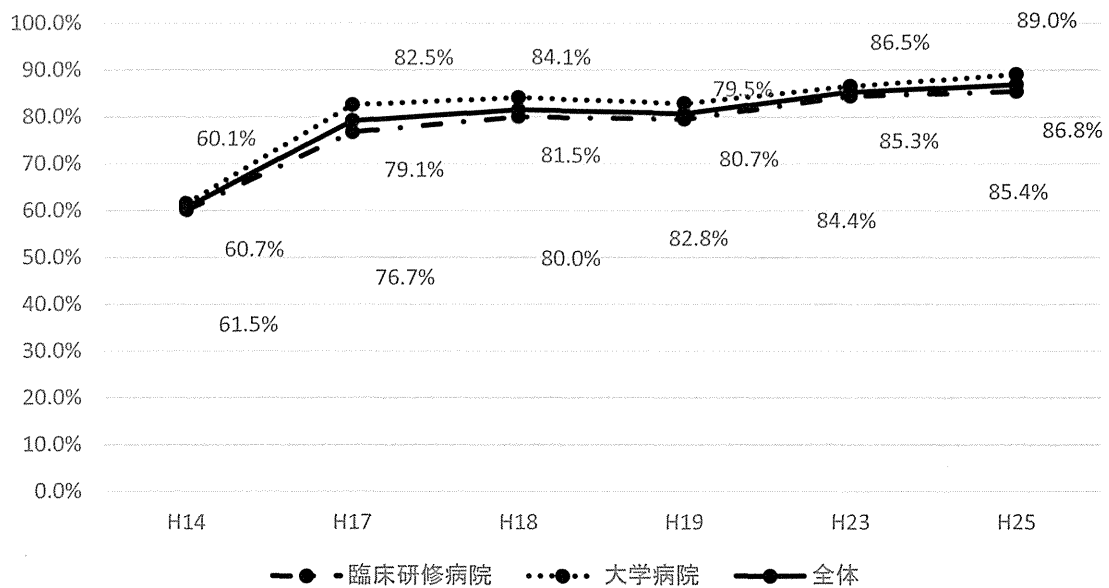
【小児の精神運動発達の異常を判断できる】



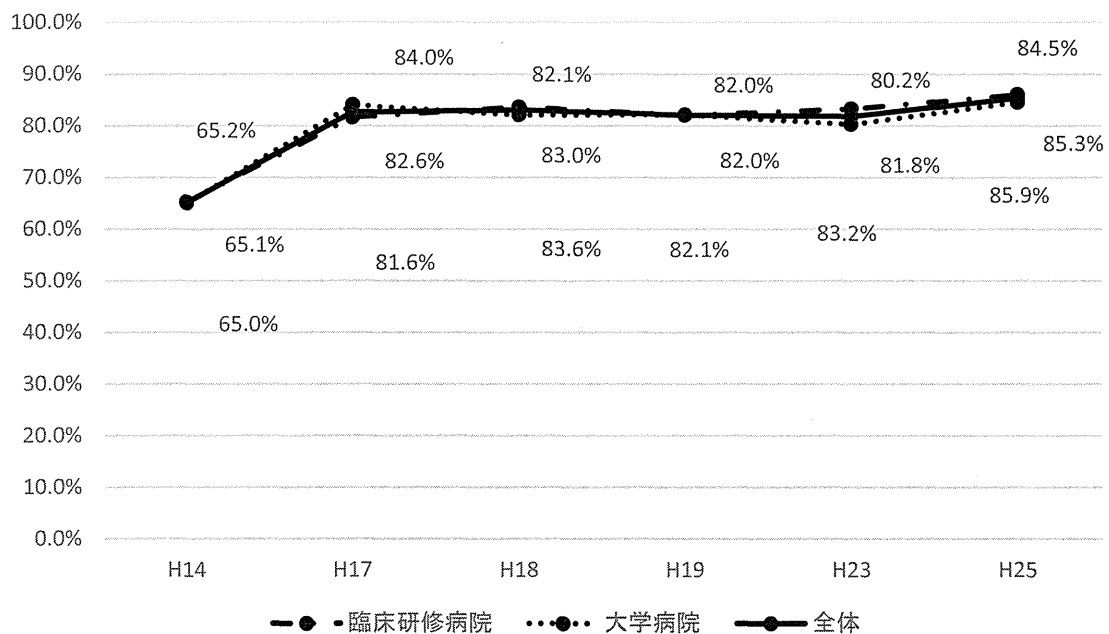
【小児の採血、点滴ができる】



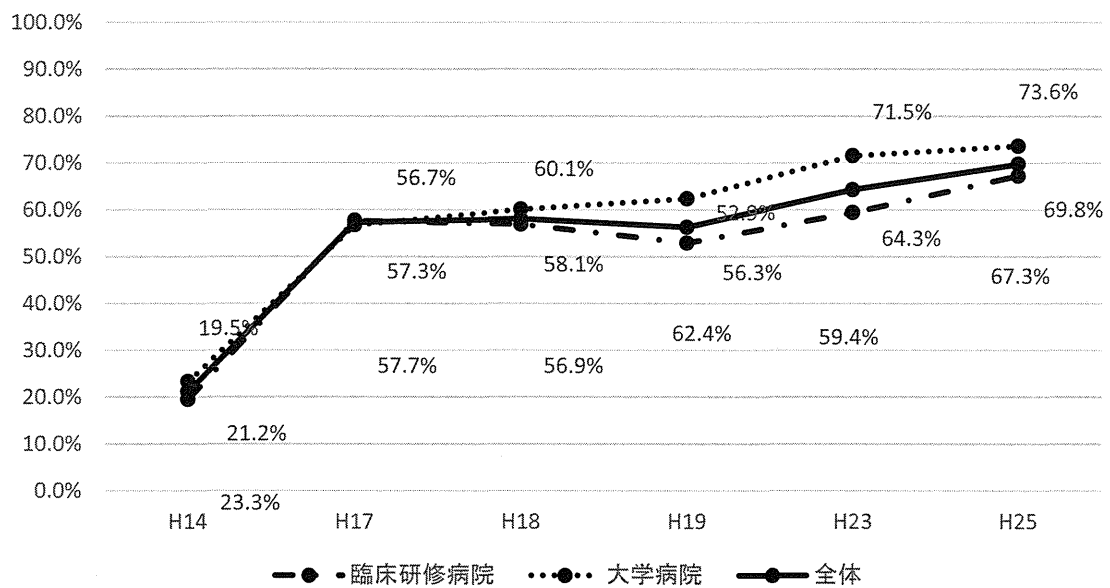
【患児の身体的苦痛のみならず、精神的ケアにも配慮できる】



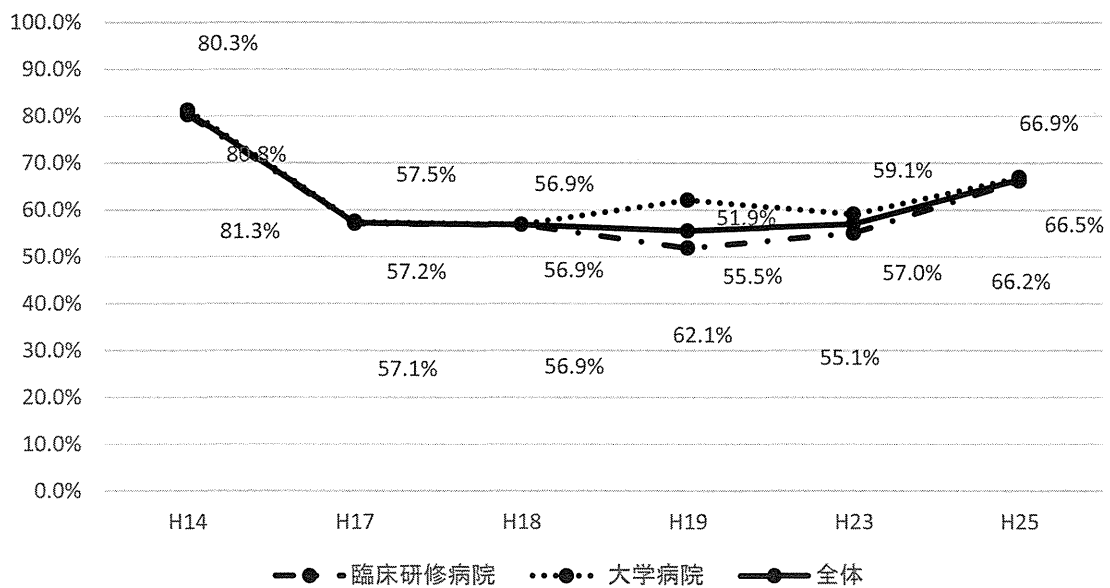
【患児の年齢や理解度に応じた説明ができる】



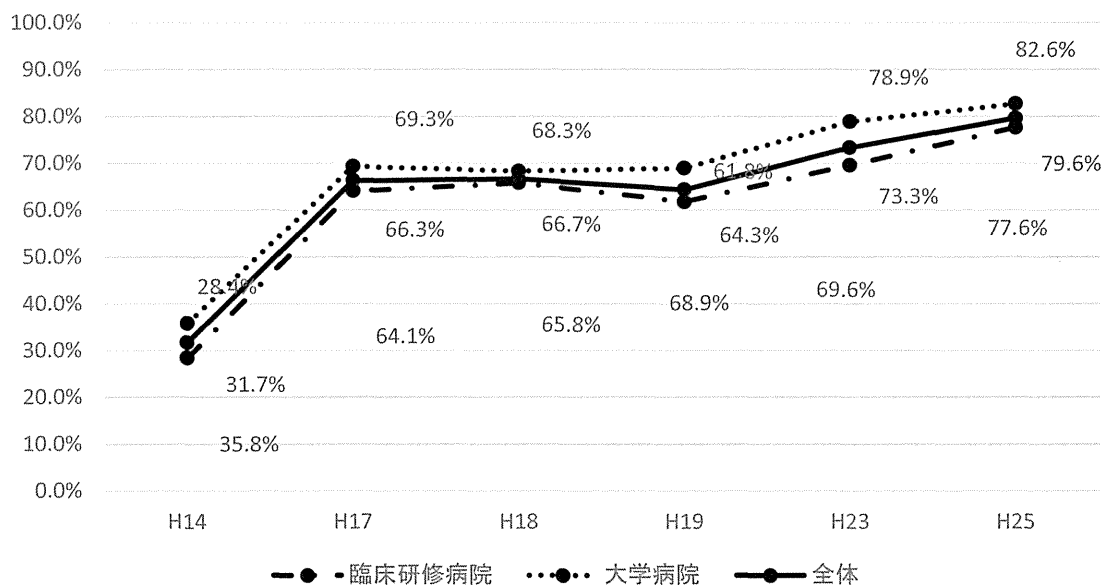
【代表的な精神科疾患について、診断および治療ができる】



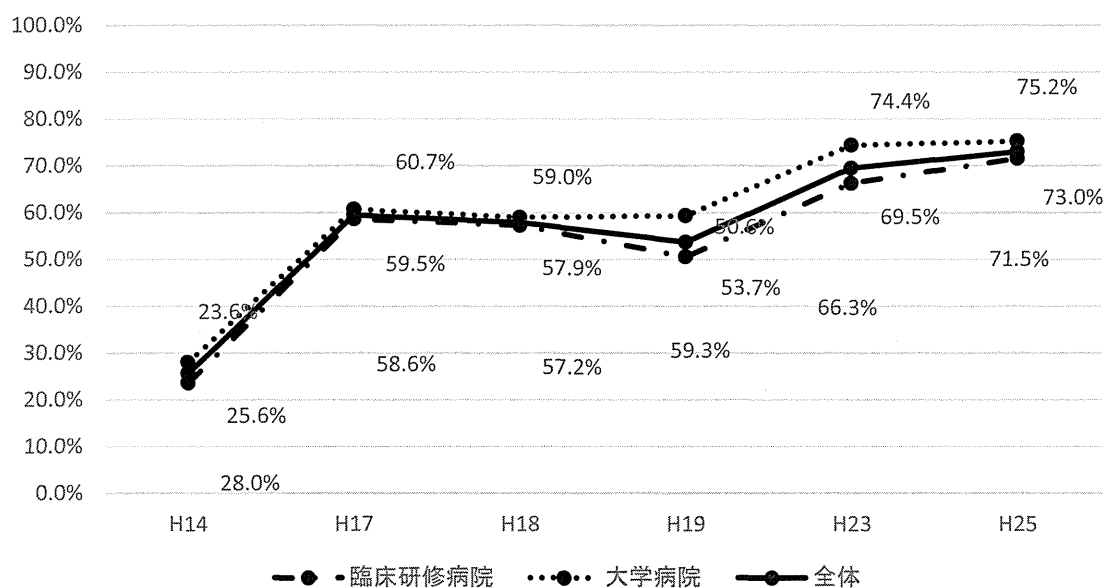
【精神科領域の薬物治療に伴うことの多い障害について理解し、適切な検査・処置ができる】

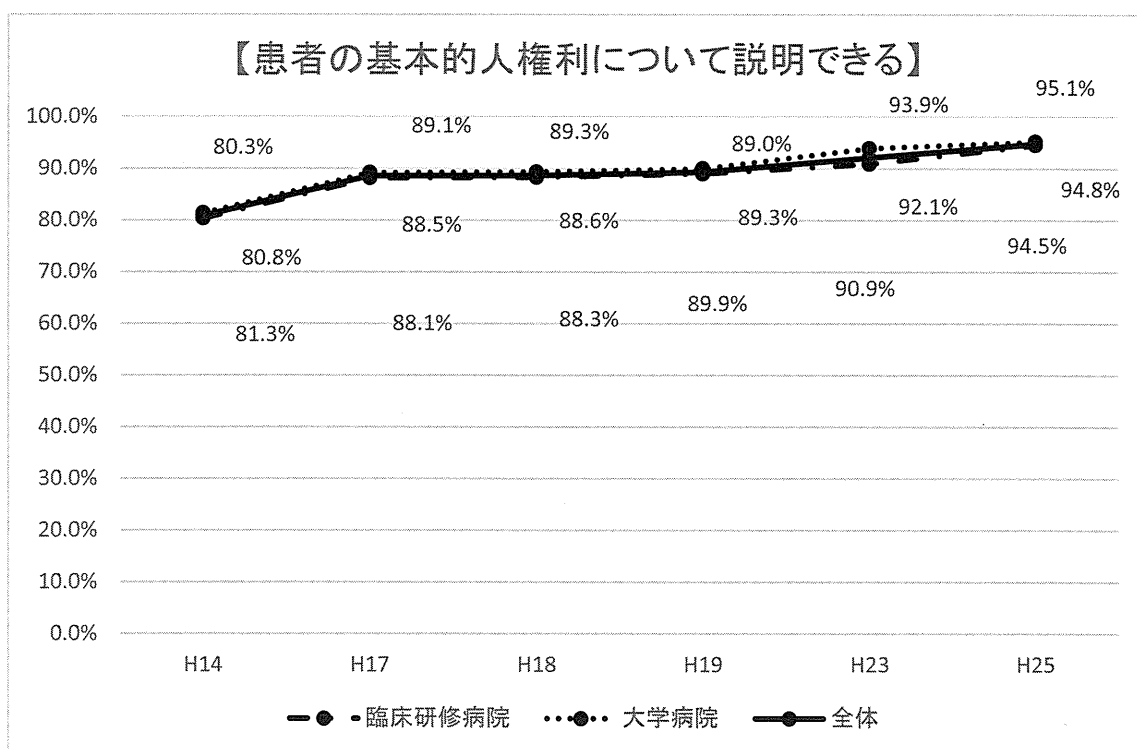
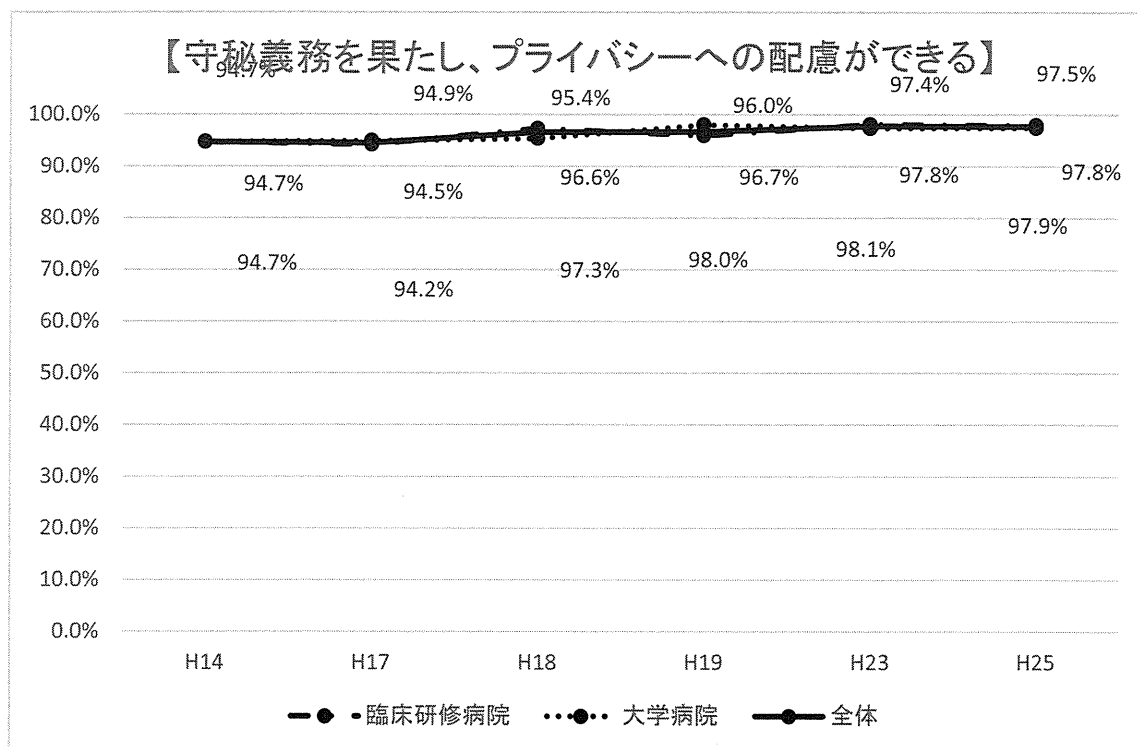


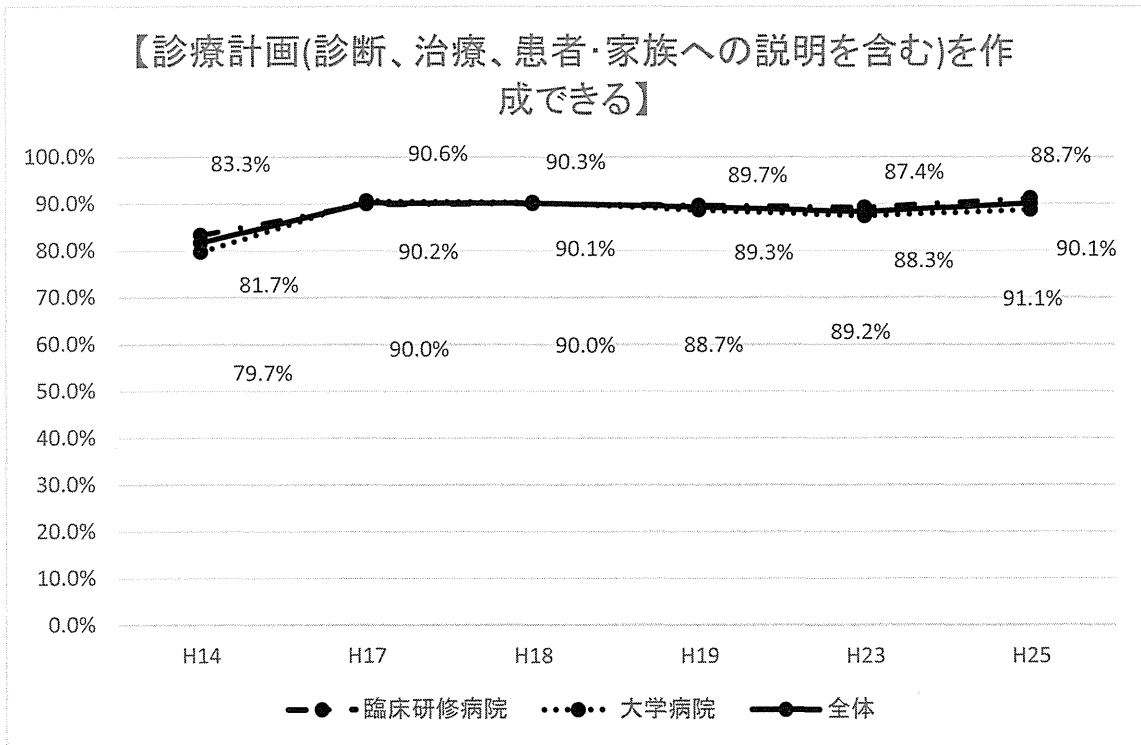
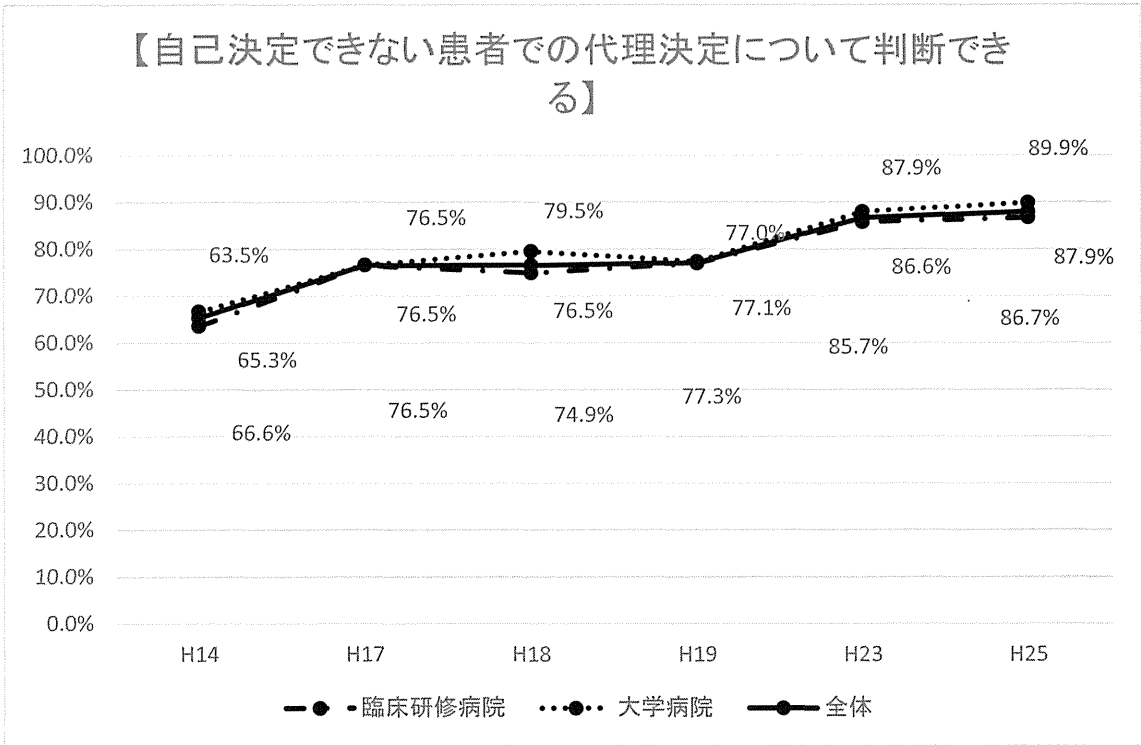
【精神科コ・メディカルスタッフ(PSW等)の業務を理解し、連携してケアを行うことができる】



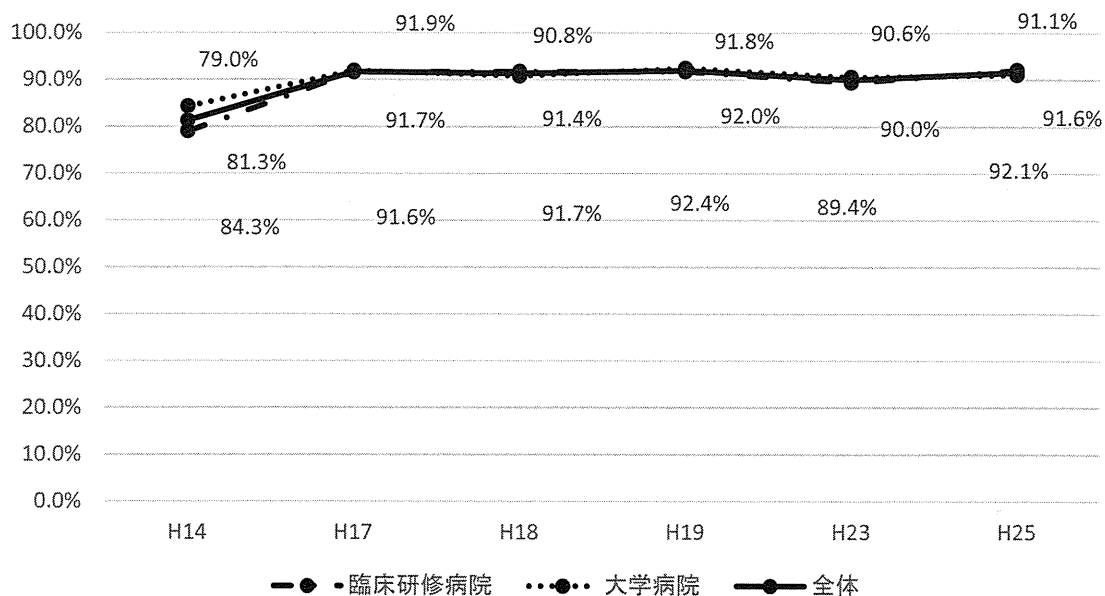
【地域の精神保健福祉に関する支援体制状況に関する知識を持ち、適切な連携をとることができる】



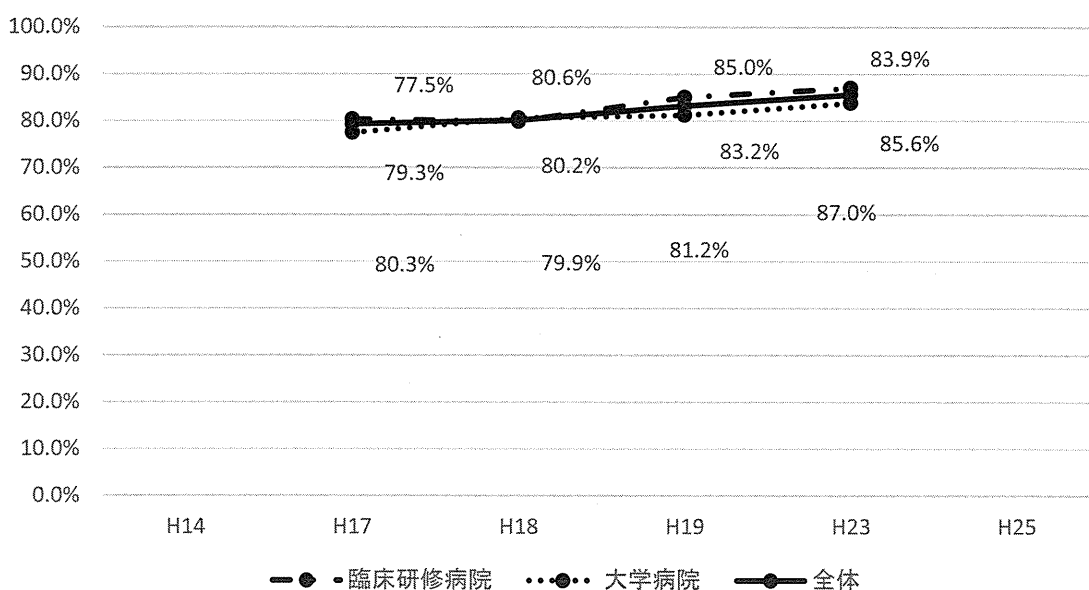




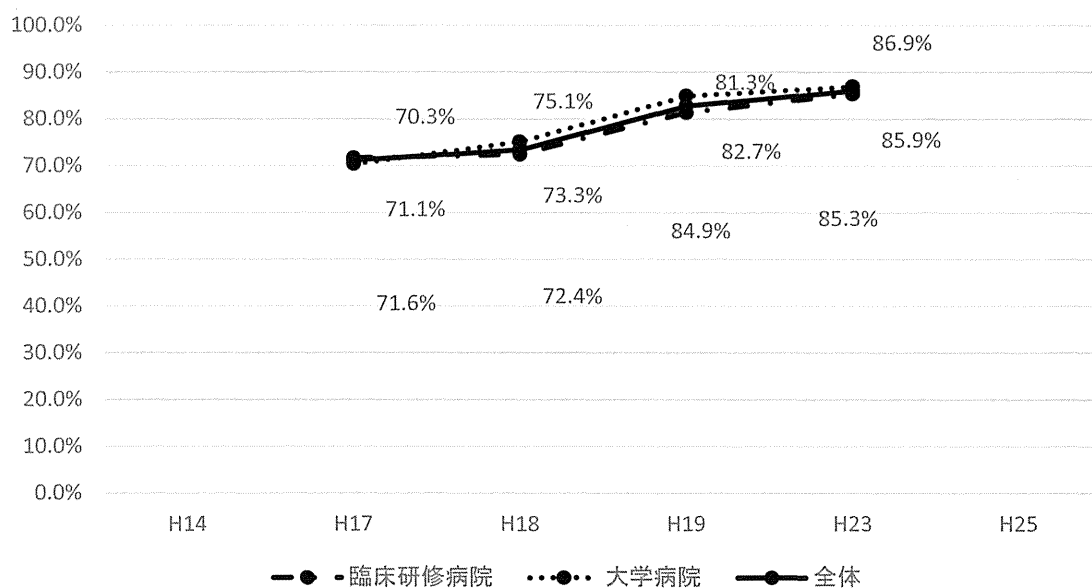
【診療ガイドラインやクリティカルパスを理解し活用できる】



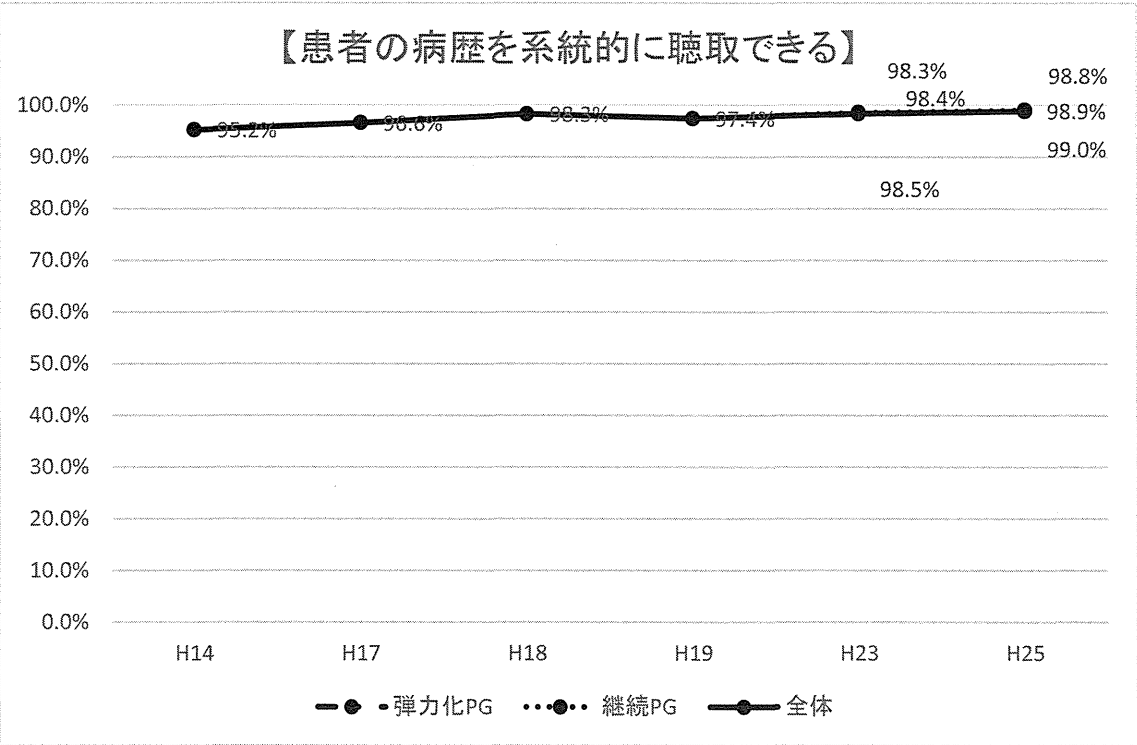
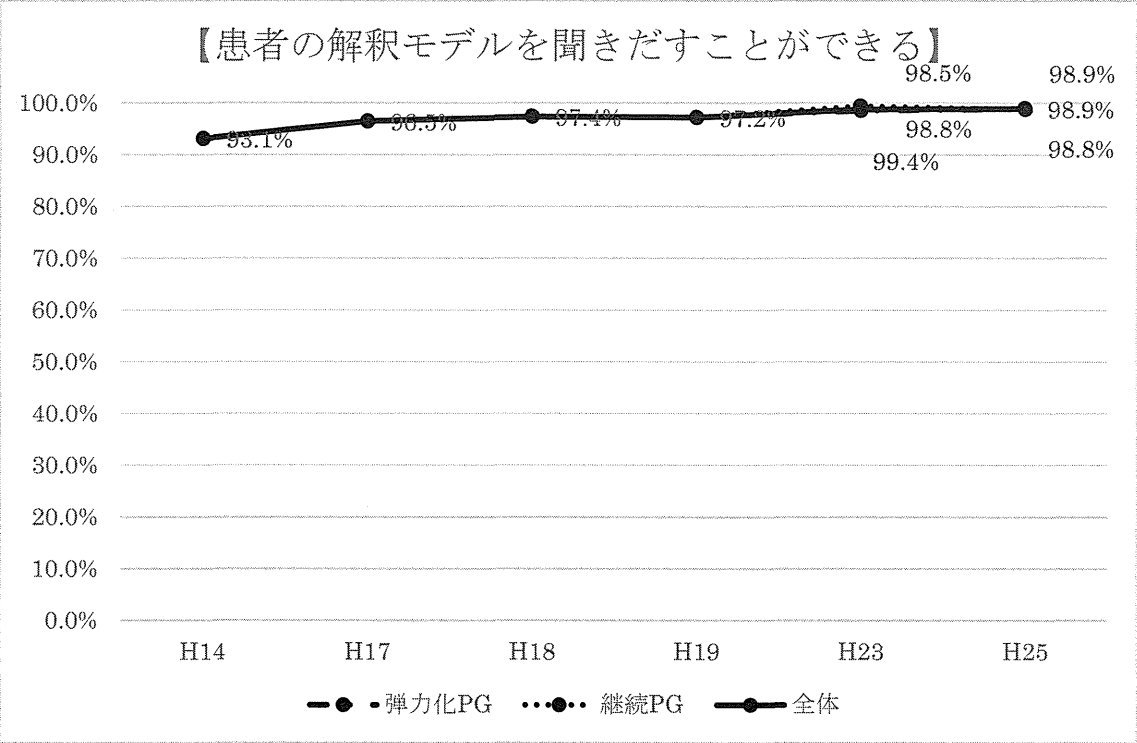
【基本的な臨床知識・技術について後輩を指導することができる】



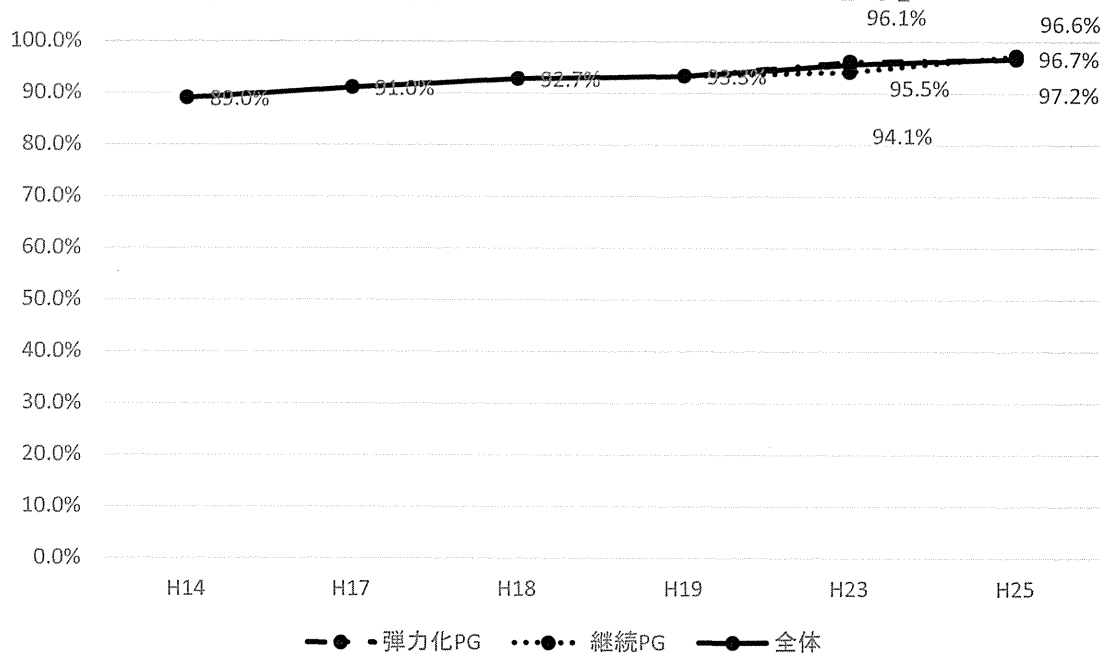
【医療人として必要な姿勢・態度について後輩のロールモデルになることができる】



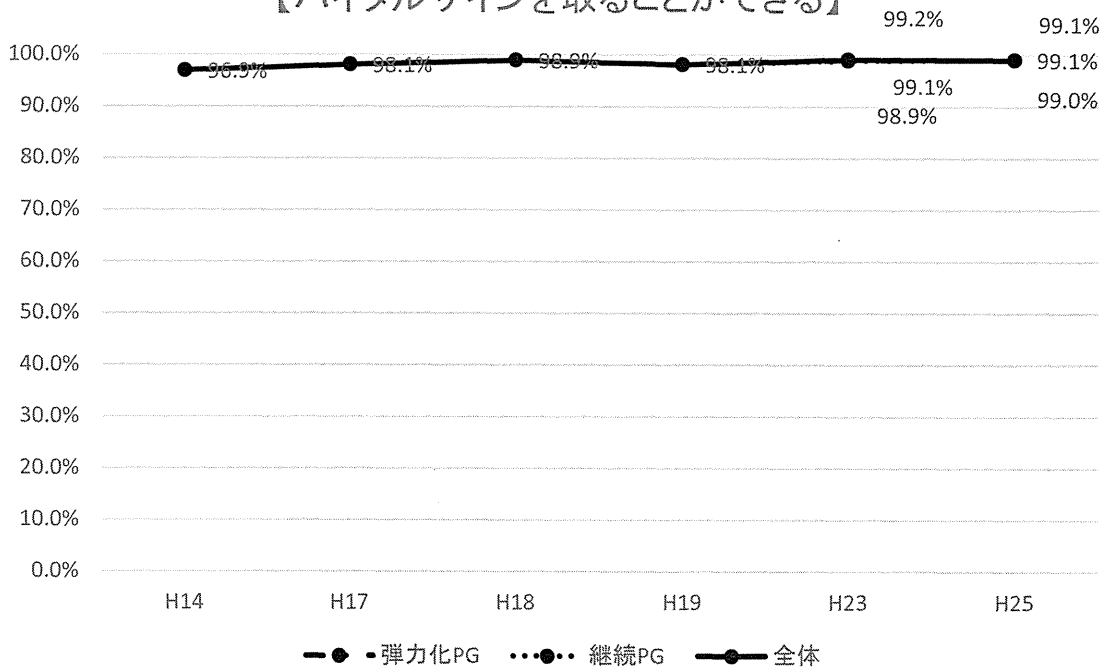
基本的臨床知識・技術・態度：「自信を持ってできる」「できる」の割合

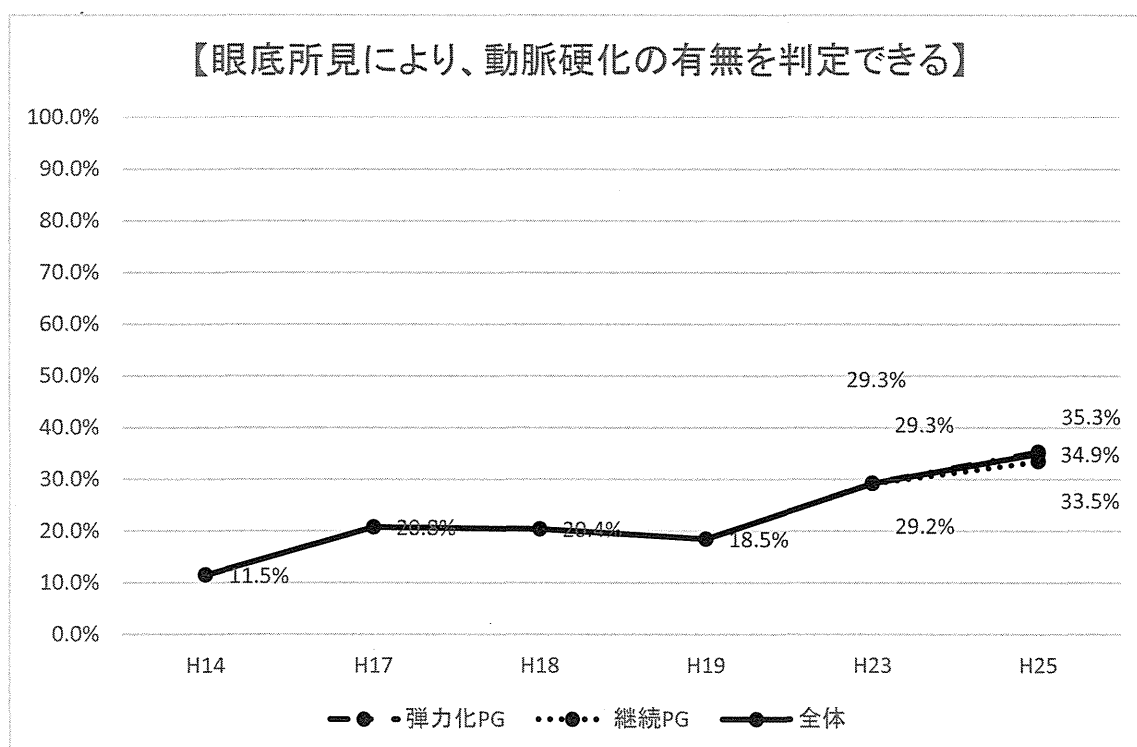
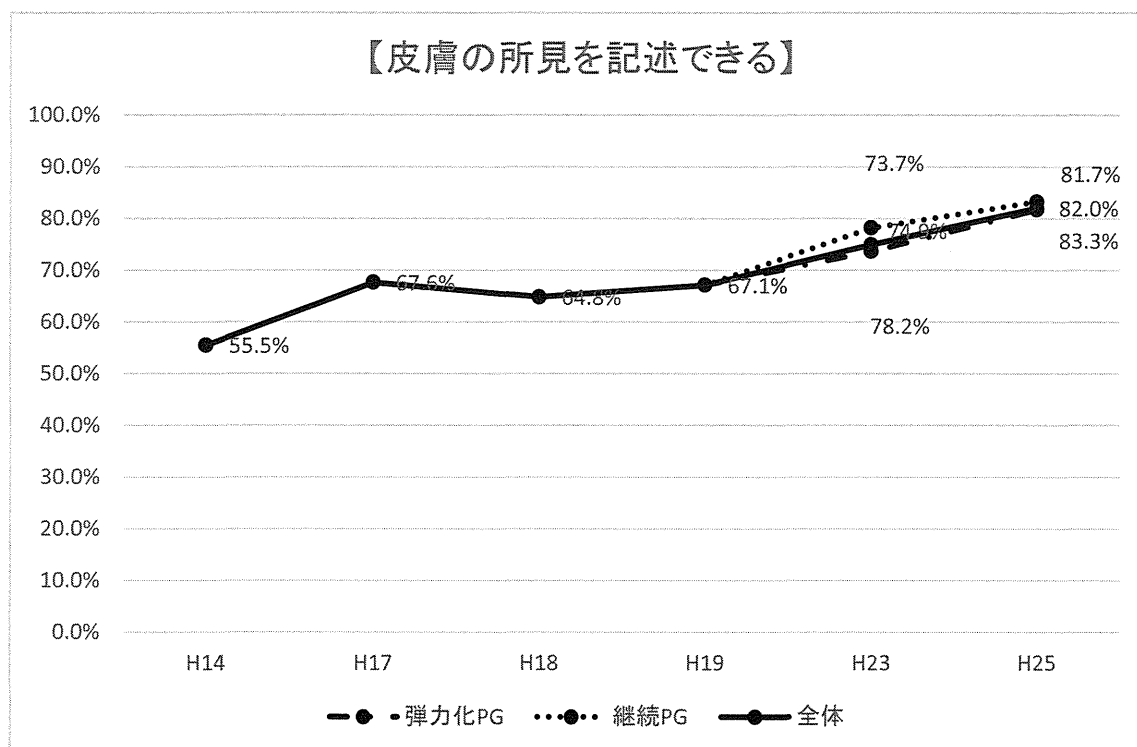


【患者と非言語的コミュニケーションができる】

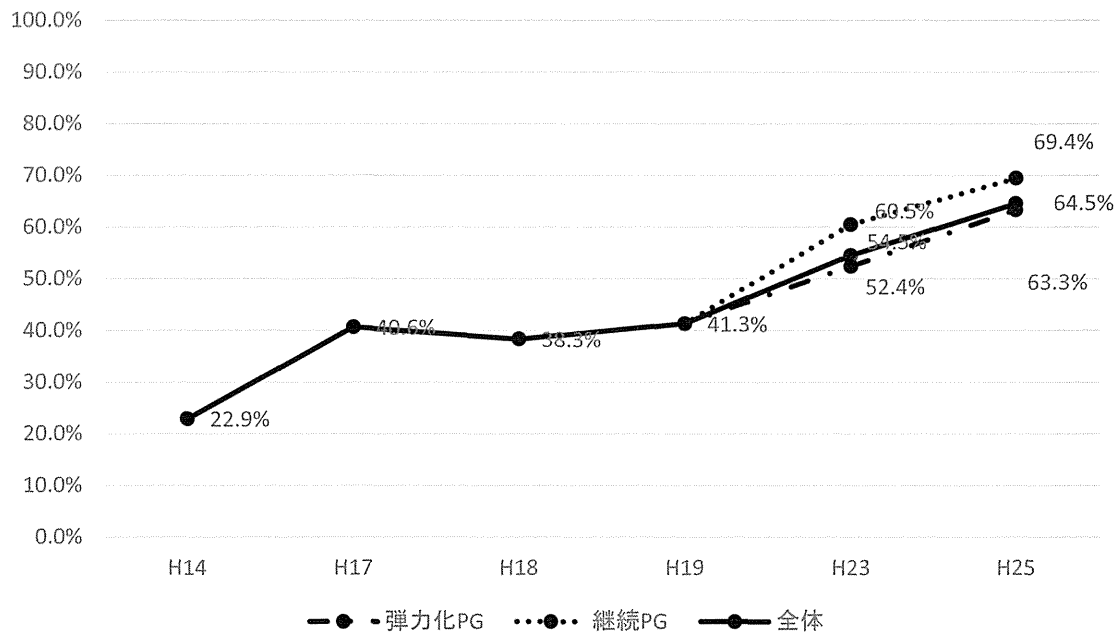


【バイタルサインを取ることができる】

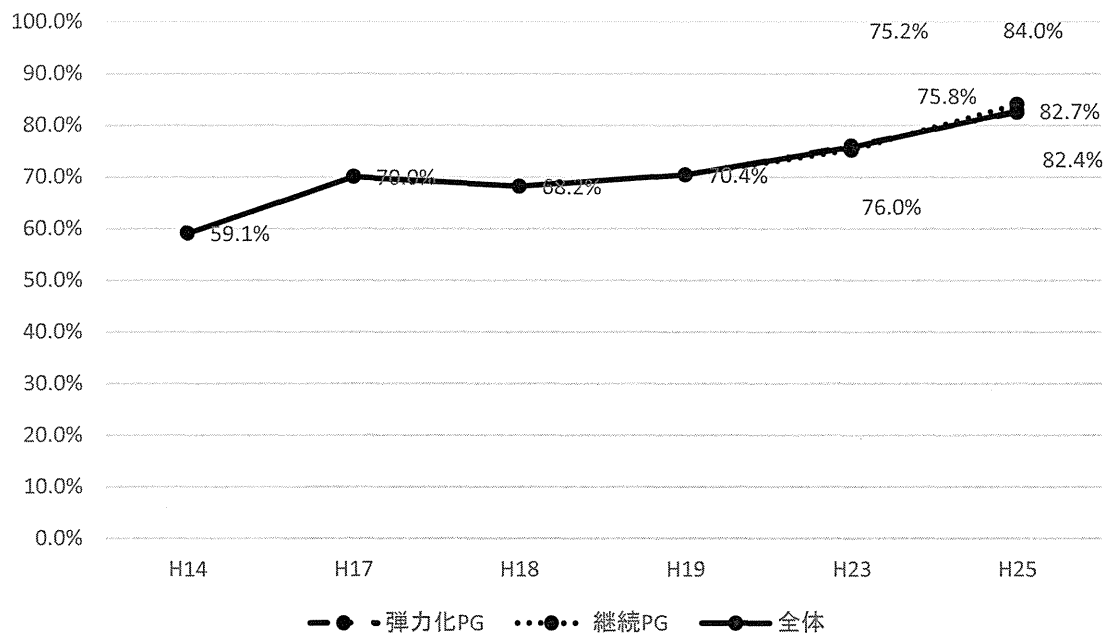


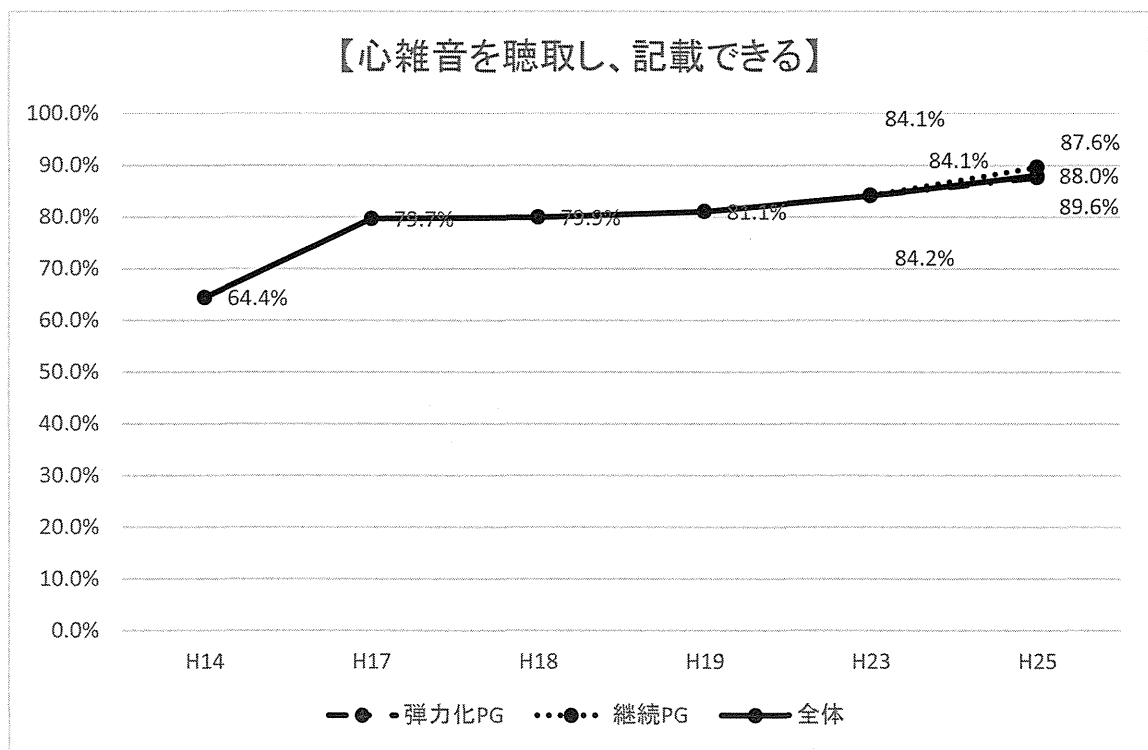
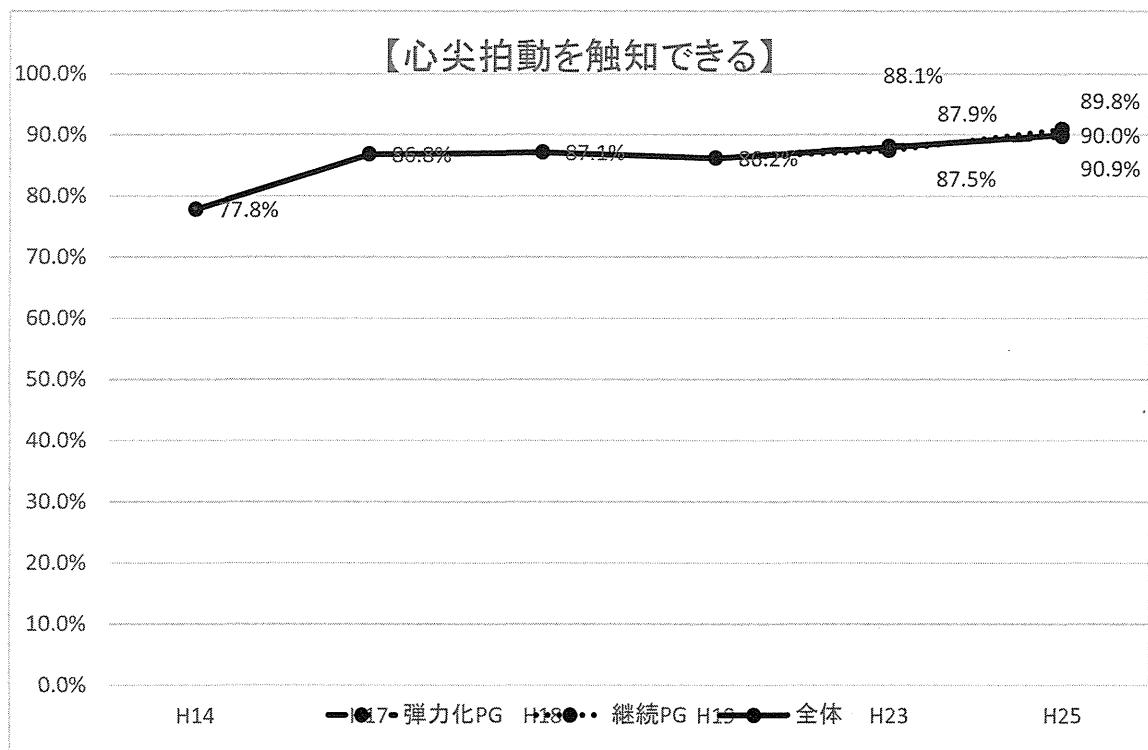


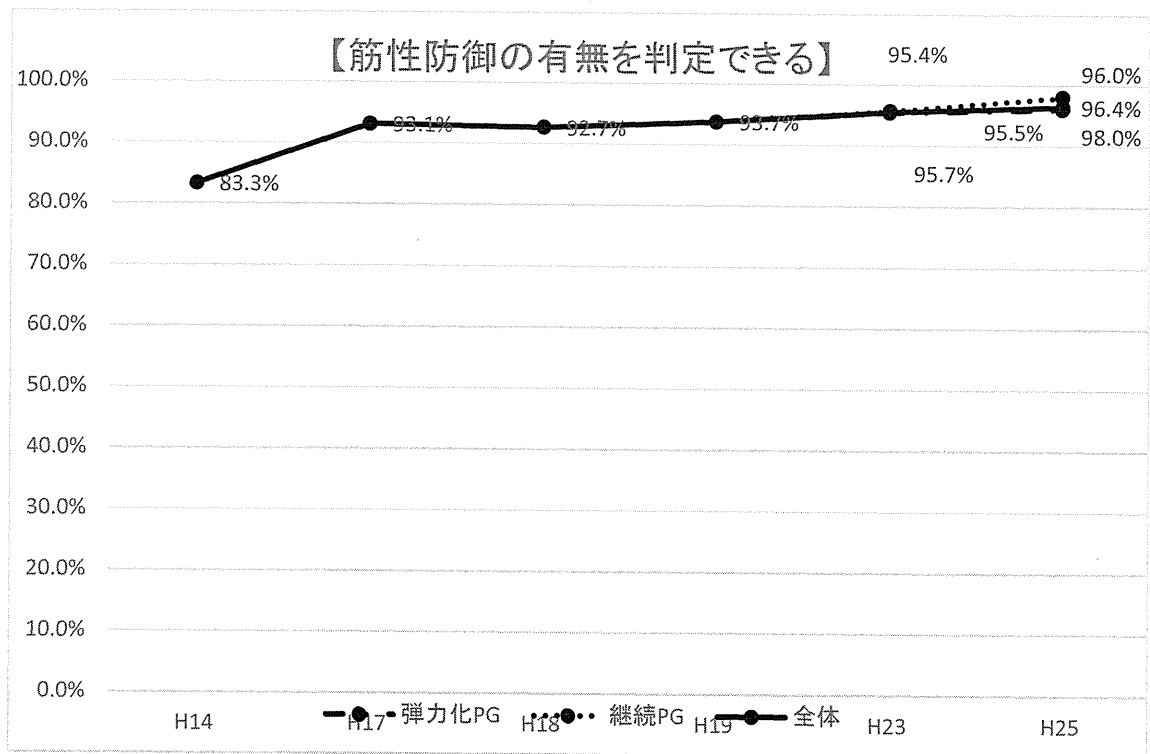
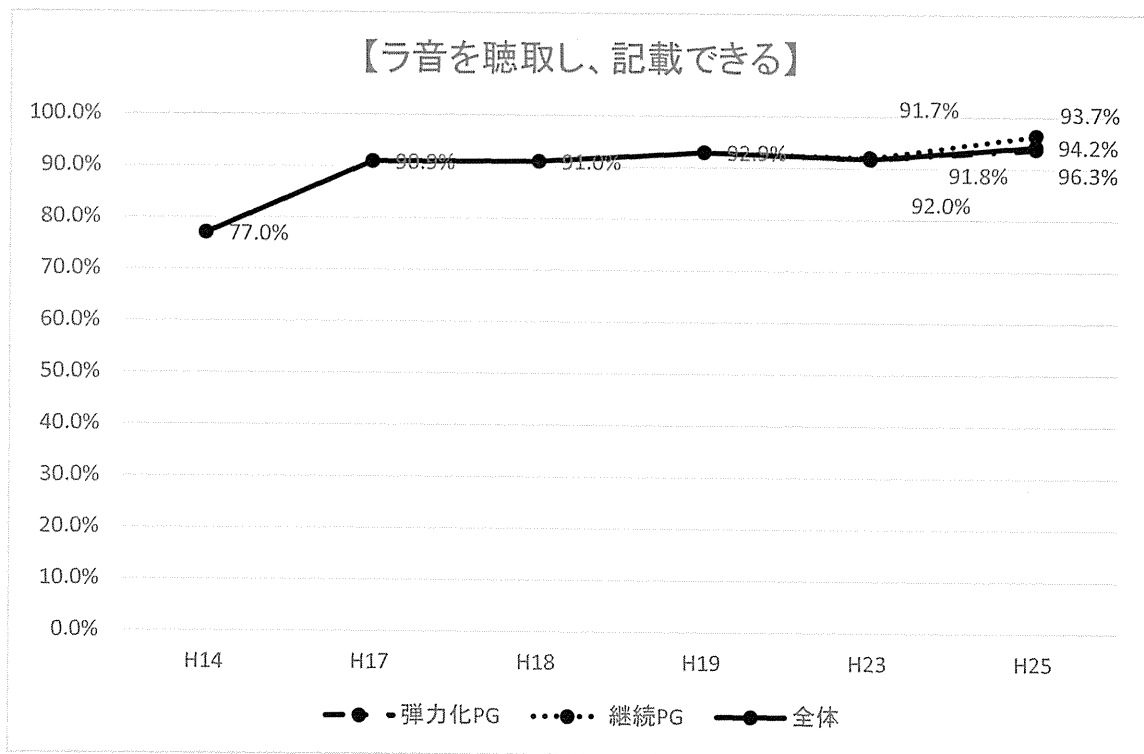
【鼓膜を観察し、異常の有無を判定できる】



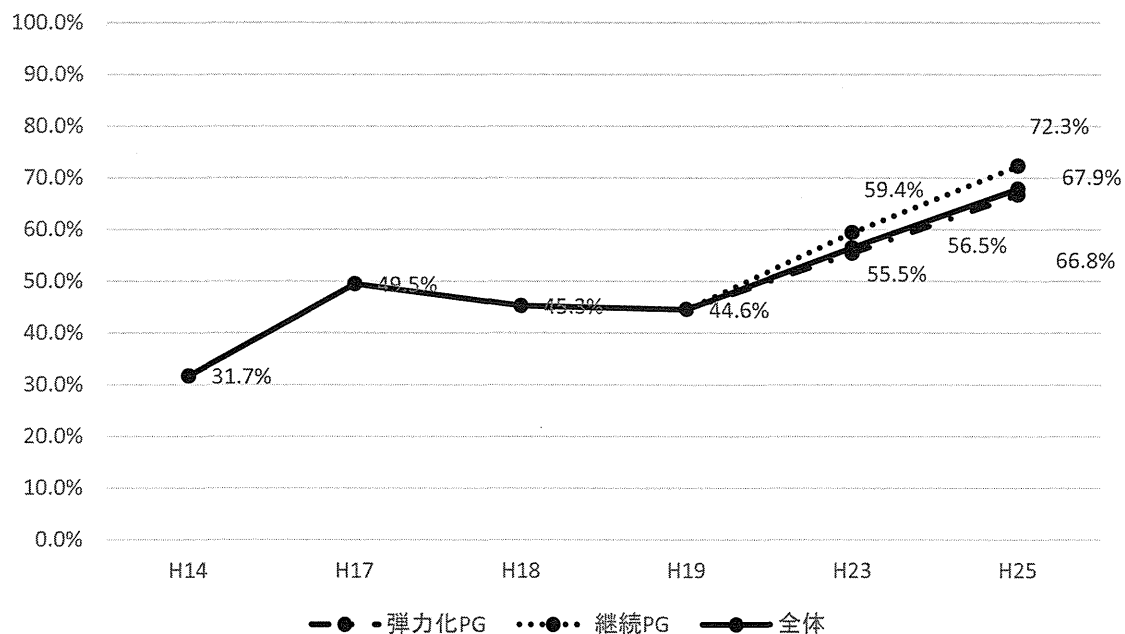
【甲状腺の触診ができる】



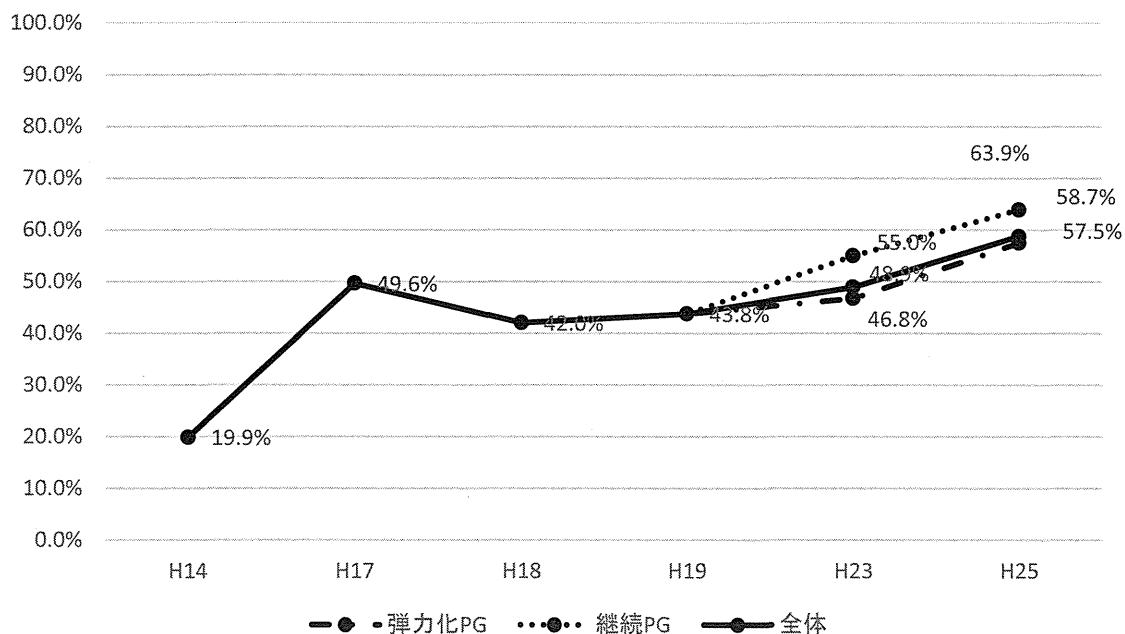




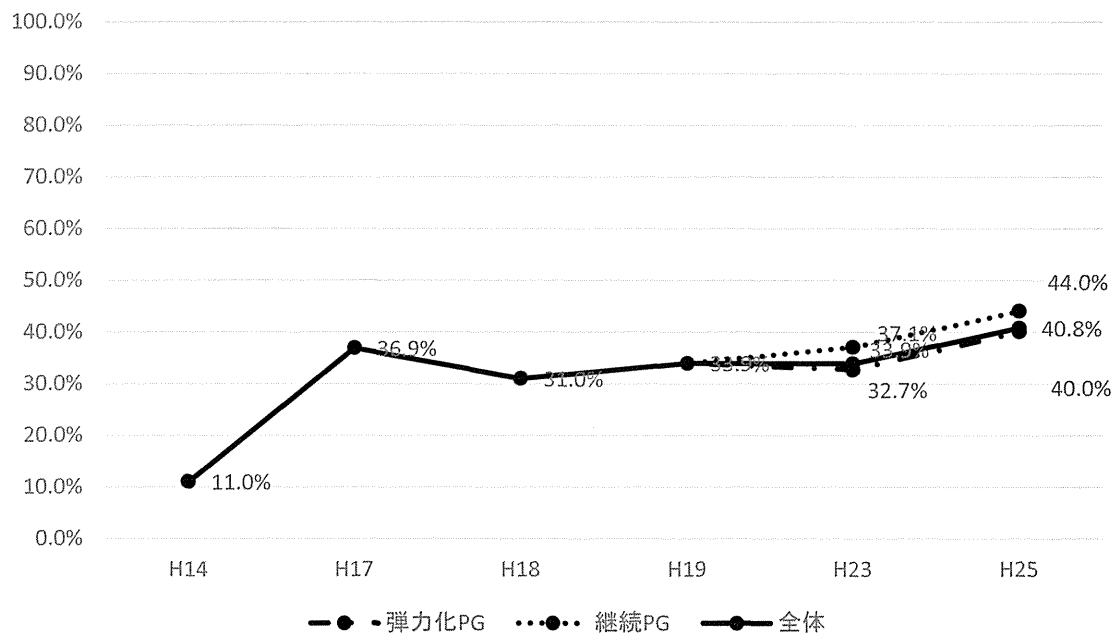
【直腸診で前立腺の異常を判断できる】



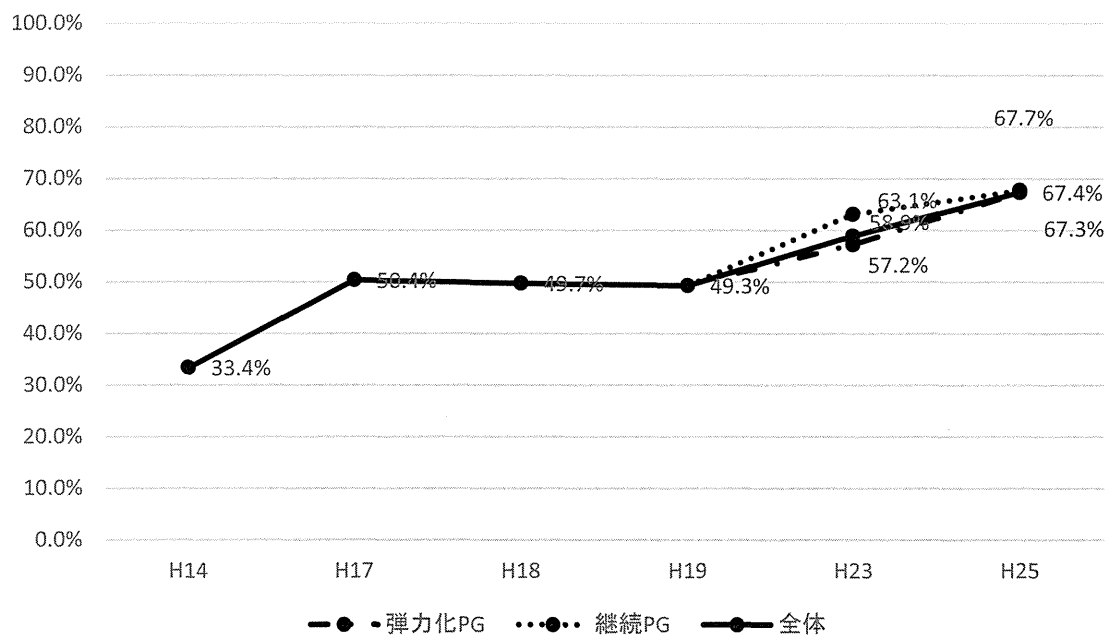
【妊娠の初期兆候を把握できる】

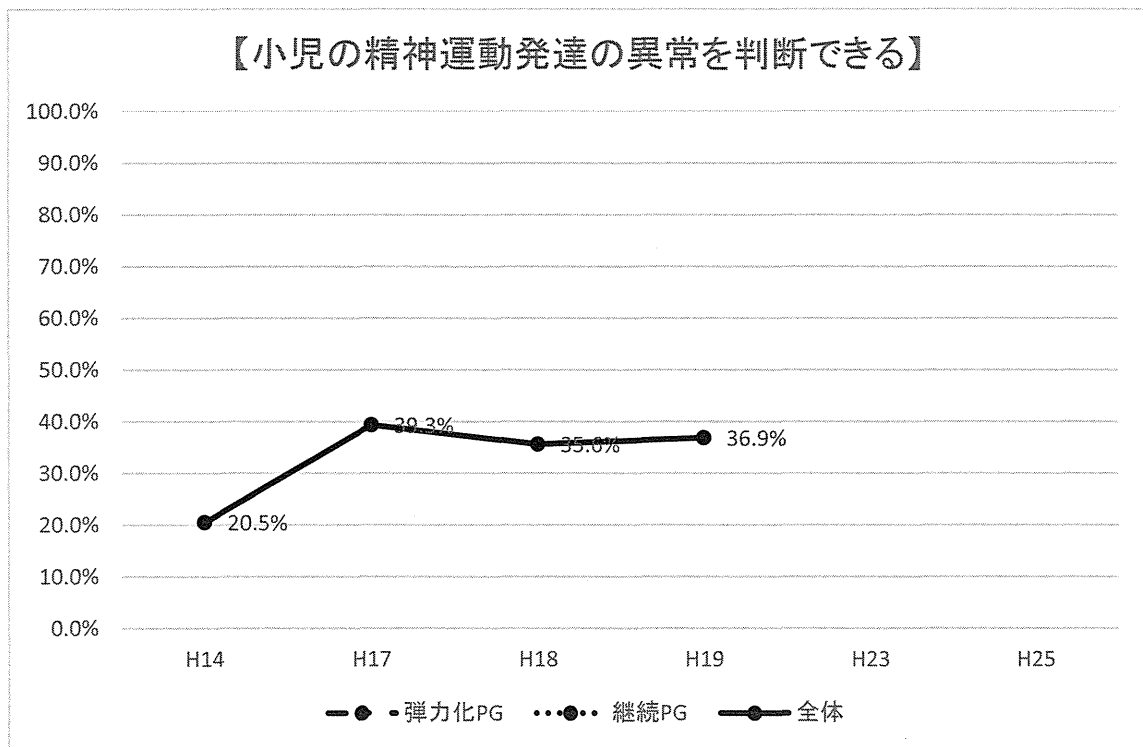
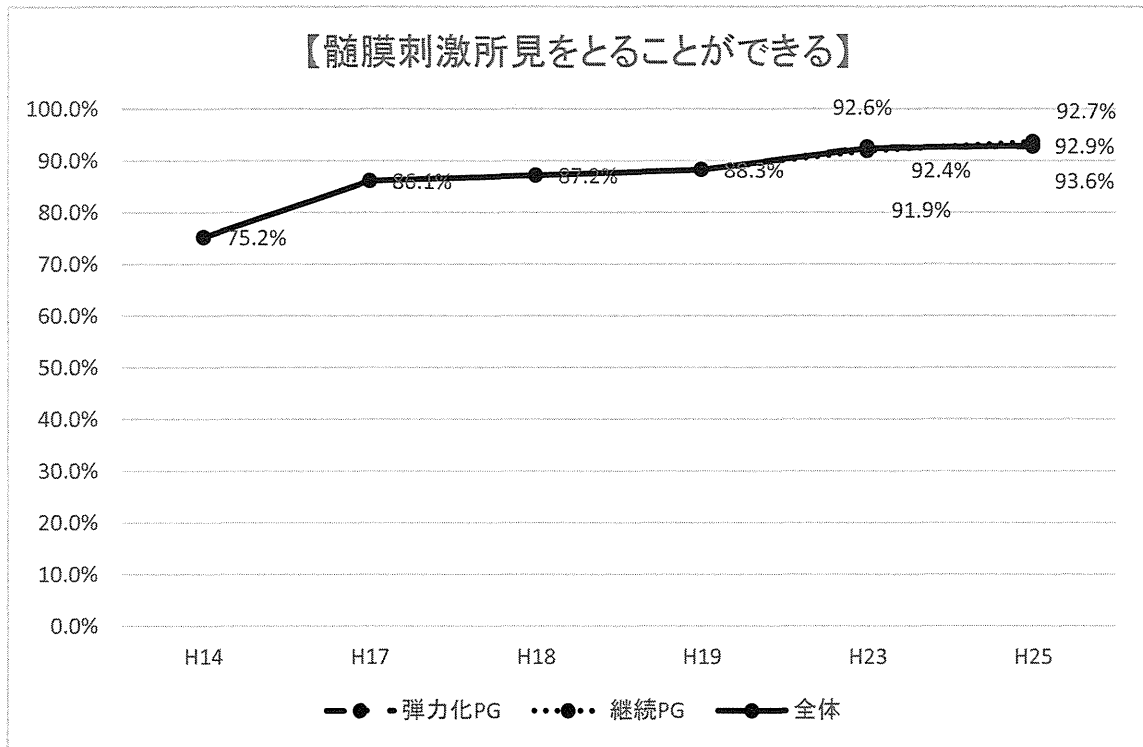


【双手診により女性附属器の腫脹を触知できる】

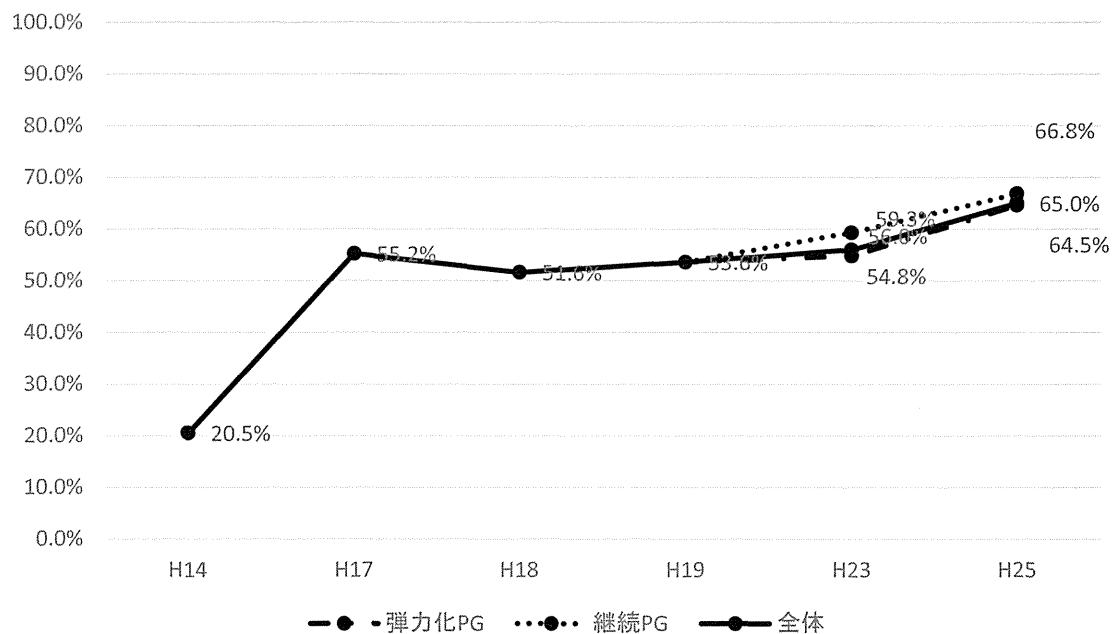


【関節可動域を検査できる】





【うつ病の診断基準を述べることができる】



【骨折、脱臼、捻挫の鑑別診断ができる】

